

調布市民のみなさん

このニュースは、毎月11日に行なっている「原発ゼロ」調布行動をめぐる情報を交流するものです。

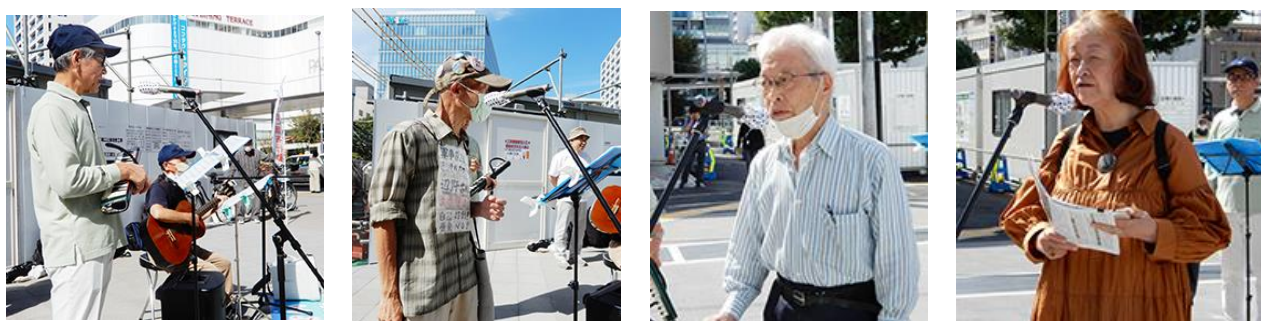
今日は、フクシマ原発事故（東日本大震災）から13年7か月となった10月11日（水）の「第142回行動」の報告と、11月11日（月）に予定する「第143回行動」のご案内をお届けします。
(編集者)

この行動を142回も続けるなど 悲しむべきこと！猛暑のもと60人！

第142回「原発ゼロ」調布行動



今回の司会・進行は「原発のない暮らし@ちょうふ」のみなさん。司会は佐橋正文さん、スピーチ調整は堀北理枝子さん、記録は菅野千文さん。音響装置とハンドマイク準備はいつもの鈴木勝雄さん、写真記録は鈴木彰。



◆歌：鈴木勝雄さん、小林優さん

「日本国憲法前文」読み上げと歌／「ふるさとを汚したのはだれ？」

◆司会 佐橋正文さん（西つつじヶ丘）：原発事故から13年7か月、今日で142回目の原発ゼロ集会になる。こんなに長い間続けなければならないのは悲しむべきことだ。

◆蔵野たけしさん（深大寺元町）：原発事故後、避難を続けている福島県民は、この10年でピーク時（平成24年5月）の16%にまで減少したが、県外の自主避難者は数に含まれないなど、実際の避難者数との間に大きな差がある。日本国内の原発から出た使用済み核燃料はフランスとイギリスで再処理され、その過程で出る放射性廃棄物は日本に返還されることになっている。その返還をめぐりいわゆる「核のゴミ」を青森県の施設で受け入れるよう県に求め

たが、青森県知事は現時点で施設が稼働していないことを理由に「協力できない」と述べた。

◆鈴木トミ子さん（染地）：10/7に東京地裁で原発関連のある判決が出た。避難指示が出なかつたいわき市から、家族だけを避難させ都内の国家公務員宿舎で住んでいたが、避難解除以降退去を求められ、従わなかつたため、東京都から訴訟（避難住宅追い出し訴訟）を起こされ、2017年以降の住宅費用273万円を支払うよう命じられた不当な判決。原発被災者が被告にさせられるという理不尽さ、国こそが責任を取るべき問題だ。



◆松本加代子さん（佐須）：日本母親大会で和歌山に行ってきたが、そこで聞いたのは、和歌山にも原発誘致計画があったが、女性たちが議論を巻き起こし、住民の会が立ち上がり、議会が否決したということ。こうした闘いは声を上げ長く続けることが力になる。

◆杉崎哲夫さん（国領）：各党の選挙公約には原発の方針が書かれていて、原発新增設を掲げる等もあるので、公約はしっかり確認する必要がある。いわき市の話は、原爆症の対応と同じだ。「明日がある」の替え歌「明日がない」

◆佐橋正文さん：日本にどこにも原発をつくれる安全な場所はない

◆河野良彦さん（布田）：自民党の公約には、再エネと原発を脱炭素エネルギーとしているが、送電網に原発の電力を優先的に入れるため再エネ抑制を行っており、原発重視の方針は明らか。風力や太陽光はコストも安くリスクがない。

ガザでの戦争から1年経ったが、第3次中東戦争から57年と長い紛争の歴史がある。イスラエルの行っていることはジェノサイド（＝パレスチナの民族のせん滅）だ。国連も変わってきた。「国連総会」で124ヶ国（約6割）が賛成し、イスラエルに停戦を求める決議を採択した。原発ゼロも国連総会で決議される日が来ることを期待します。

◆小野和子さん（染地）：ガザではパレスチナ人民が虐殺されている。女性・子ども・老人・身体的弱者が大事にされる世の中にすべき。明日10/12 14時～ あくろすでドキュメンタリー映画「琉球弧を戦場にするな」が上映されるので、ぜひご参加を。



◆鈴木ヒデヨさん（国領）：パレスチナの子どもの詩「私の足に名前を書いて」を朗読。

あしに おなまえかいて、ママ	くろいゆせいの マーカーペンで
ぬれても にじまず	ねつでも とけない インクでね
あしに おなまえかいて、ママ	ふといせんで はっきりね
ママおとくいのはなもじにして	そしたら ねるまえ
ママのじをみて おちつけるでしょ	

あしに おなまえかいて、ママ きょうだいたちの あしにもね
そしたらみんな いっしょでしょ そしたらみんな あたしたち
ママのこだって わかってもらえる
あしにおなまえかいて、ママ ママのあしにも

日本政府が声をあげるよう訴えていかなければならない。昨年11月から駅前でスタンディングを始め、映画上映会や学習会も行ってきた。毎週火、水、木、金、日（4時～5時）にスタンディングをしているので、一緒に声を上げていこう。

◆歌：鈴木勝雄さん、小林優さん 調布狛江合唱団有志
「Love&Peace」「ふるさと」

第143回「原発ゼロ」調布行動

日時：2024年11月11日(月)

10時半～11時半 於：調布駅前

今回は11月11日(月)。福島原発事故から13年8カ月目、「調布行動」としては第143回目の行動です。11～12月の企画・進行・司会は「調狛合唱団・有志」のみなさんが受け持ってくれます。

参加される方は、それぞれの思いをプラカードやミニカードに書いて集まりましょう。どんなことでもいいから「ひとこと」は言ってやろうというトークの準備もしてください。色んな人が、短くてもいいから「ひとこと」を！と願っています。

準備してきたのにトークができなかった場合、メモを編集部にいただければ、このメールでみなさんに伝えます。

*木陰を奪われてしまった駅頭は、炎天下では焦熱地獄です。日傘や飲料水など、熱中症対策には各自で念を入れましょう。

*小雨の場合はプラカードを持ってスタンディングなど、可能な範囲の行動に切り替えます。大雨の場合は、参加者各自でご判断を！

なお、7月以降の「窓口さん」は、以下のように申し合わせていますが、われこそはというグループはど、ぜひとも名乗り出て、輪番に加わってください。「1回だけ受け持ってみよう」というグループも大歓迎です。

143～144回（11～12月）	調狛合唱団有志
145～146回（25年1～2月）	アネモネ会
147～148回（25年3～4月）	年金者組合 3月は事故から満14年
149～150回（25年5～6月）	新婦人
151～152回（25年7～8月）	@ちょうふ 8月は被爆・敗戦80年